

当日の流れ

1. オリエンテーション（石岡未来会議の目指すもの・グラドルールの説明）
2. 参加者自己紹介
3. 話題提供①「文化施設整備事業の説明（補足） コミュニティ推進課/高橋」
「全国の複合施設の成功事例紹介/遠山浩司さん」
4. グループ対話①
「どんな施設のどんなところがよかった？」
5. 全体共有①
6. 話題提供②「市民が運営に参加して文化を育てている事例紹介/遠山浩司さん」
6. グループ対話②
「私、これだったらやってみたい！こんな関わりしてみたい！というのはあった？」
7. 全体共有②

当日の参加者 33人（内訳：男性18人・女性15人で、年齢層は16歳～85歳）

要約

話題提供①

「文化施設整備事業の説明（補足）」・「全国の複合施設の成功事例」

■文化施設整備事業についての概要説明を行った。

- ・市では、石岡市民会館の閉館にともない、新たな文化施設の整備を検討している。現在、立地（駅前 or イベント広場）と施設機能（図書館や保健センター、児童館など11の機能）を検討中。
- ・第1・2回では「多世代が交流できる場」「地元の食材を使って料理をしながら交流できる場」「石岡市の文化にスポットがあてられた場」など「こんな場所があったらいい」という意見が出されたが、現在ある施設で、そのような機能の一部を担っていたことが分かった。しかし、多くの施設は、築40年を超え、老朽化が課題になっていたことも確認した。

■第1・2回で参加者から出た「こんな場があったらいいな」を体現している全国の複合施設の成功事例、石岡市で複合化を検討している施設の全国の成功事例の情報提供を受け、「どんな施設のどんなところがよかった？」をテーマにグループ対話を行った。

グループ対話①

「どんな施設のどんなところがよかった？」（意見抜粋）

【武蔵野プレイス】

…市民活動センター・生涯学習機能と、青少年センター・図書館が併設されていて、大人も子どもも使える。**いろんな世代の交流**ができるところがよかった。青少年を中心にして、三世代交流ができるような場所がいい。

【久留米シティ】

…屋根のついているイベント広場があって、**目的なく立ち寄れる**ところがよかった。商業施設と複合化されている、まちの施設。雨が降っても使えるところがいい（全天候型）。

【福岡市並木スクエア・なでしこルーム】

…石岡駅には学校帰りに、お迎えを待つときに使える**学生が、時間調整ができる**自習室がない。コワーキングスペース的なものとして、なでしこルームのような場所があったらいい。

【藤沢市民会館】

…プロからミュージカルを直接学べる機会があるのがいい。**プロの技術を地元の子もたちが体験**できるのはいい。

【ホルトホール大分の市民放送局】

…まちの情報が発信される**スタジオのような機能**があるのがいい。

【阿波踊り会館】

…おまつりをみるだけでなく、体験できる仕掛けがあるのがいい。阿波踊りの歴史が学べて、鑑賞できて、観客がステージに上がって体験もできる。外側のひとが「**まつりを体験**」できる仕掛けがあるといい。

話題提供②「市民が参加して文化を育てている事例紹介」

■ (1) 参加者、(2) コンテンツの提供側、(3) 施設の企画・運営側の3つの視点から、施設と市民の関わり方をつくっている全国の事例の話題提供を受けた。

グループ対話②

「私、これだったらやってみたい！こんな関わりしてみたい！というのはあった？」（意見抜粋）

■参加者として関わりたい

- ・プロのオーケストラなどから指導を受けられるような機会があったら、子どもに体験させられる企画
- ・プロと関われる（例：WEBデザインの勉強をしているから、デザインのプロのワークショップなど）企画
- ・ファシリテーターがいて、参加者の「やりたい」を引き出される企画（決まったコンテンツを享受するだけではない）
- ・石岡のおまつりの町内ではないため、おまつりは見るもの。しかし、お囃子など体験できるような機会があったら参加してみたい。石岡市の入口として、石岡のおまつりを位置づけている企画
- ・八郷のこんこんギャラリーの作家さんのワークショップが、市内の施設で体験できる機会（こんこんギャラリー単体は行きにくい。ハードルがある）など、地域のひとやコンテンツをつなげる企画
- ・障がい者も楽しめるようなコンサートや演劇

■コンテンツの提供者として関わりたい（施設をこう使いたい）

- ・食育に取り組んでいる。地産地消のランチを提供してみたい
- ・花育に取り組んでいる。教える資格をもっているが、公民館では営利活動はできない。地域の人から教わったり、地域の人に教えたりする活動をしたい
- ・せんべい焼き体験講座を主催している。食に関する体験なら、子どもたちに提供できる。自分の得意なもの、好きなもので、ぜひ参画したい
- ・月に1回くらいの頻度で、市民が、まちについて話す場をつくってみたい

■企画の運営側として関わりたい

- ・イベントの際の設営や解体などのボランティアならできる
- ・裁縫が好きだから、演劇をやるときの衣装づくりなどお手伝いできる
- ・石岡という地域に関心を持って、知りたいと思っても、その入り口がどこにあるのか分からない。知っている人と知りたい人、教えたいひとと、教えてもらいたいひとのマッチングをしてみたい。
- ・行政から運営を委託されるNPO団体の事例に至るまでは、大変だと思う（あったらいいなと思う）。運営全体でなくても、企画単位で、地域の人材で、必要なひとを必要なときに配置するようなやり方ができたらいい
- ・まちづくりが仕事になり、地元の若者が、生活できるようになったらいい
- ・ひと、もの、金が、地域のなかで循環するような運営になったらいい（そのような運営になるためには、市民も責任を負わないといけない）

グループ01～10から出た意見

グループ対話①

「どんな施設の、どんなところがよかった？」

■グループ01

- ・ホルトホール大分の市民放送局（いまの小学生はyoutubeへの興味が高い。大人が使う設備を子どもが使えるのは、現実を知る意味でも夢をみる意味でもいいかも）
- ・生涯学習機能・市民活動支援機能・青少年活動支援機能が図書館に複合されている武蔵野プレイス。中高生にあがると、部活が始まり、行動範囲が学校と家だけになりがち。学校外の人とも交流ができる場所があってキャリア教育につながるようなこと場があったらいいと思った。知られざる石岡の企業のすごい話とか聞きたい。そんなすごい企業があるのだと思えたら、子どもたちも石岡市に残るきっかけになるのでは？
- ・以前都内で暮らしていたときに使っていた児童館。バンド練習ができる設備と自由に使える体育館があったのがよかった。
- ・リモートで仕事するときは、土浦のような図書館が、とても使いやすかった（wifiが自由に使えて、席も多い点）
- ・ワークショップができる場所という言葉が出ていたのが印象的。誰が、誰向けに、どういう内容のワークショップをやっていくのか？子どもたちがワークショップの主催者になれるような機会があったらいい。
- ・以前の市民会館は、大きなイベントがないと人が来なかった。多世代が絶え間なく出入りしている施設。常にひとの交流が生まれていく施設になるといい。舞台を消費するだけの施設はやっていけない。内向きになりがちな意識を、外向きにしていける施設にしていけたら。
- ・小学4年生までは学童の利用が多い。5年以上になると習い事で忙しくなる。単純に遊ばせる場所がほしいと保護者からは聞く。広いカフェスペースがあって、そこで習い事ができる。先生も、オンラインで頼める。

■グループ02

- ・子どもが集まれるのは、各地区にほしい機能。市民会館は中心にあるからこそその機能（音響の設備の良さなど）があるといい。
- ・受験のときに、土浦市まで行く時間をもったいないときに、石岡市の図書館を使っていた。児童館は小学校のころによく行っていた。卓球台があって、遊んでいた。
- ・八郷地区には、まわりにそういう施設がない。中高生になったら、一人で行ける場所が、あったらいいなと思っている。
- ・人が集まるのは、交通の便のいいところとなってしまう。石岡地区の人が八郷地区のほうに向かうのは、なかなか難しい。
- ・事例で出てきた施設は全部よかったけど、武蔵野プレイスが特によかった。児童館の進化系だと思った。石岡地区にも八郷地区にもほしい。
- ・そういう施設には、専門の大人のスタッフがいてほしい。
- ・阿波踊り会館の事例も参考になった。おまつりも町内によって高齢化しているところもある。施設に親子で来てくれて、お囃子を体験できて、子どもが入りたいって言うてくれれば、参加するきっかけになっていい。

- ・子どもたちが石岡のおまつりを大好きで、3日間見に行っている。篠笛を買ったが、どうやって吹いたらいいのかわからない。教えてくれるひとがいたらいいなと思っていた。武蔵のプレイスのような場所で、おまつりのことを学べたりしたらいい。こども劇場の活動の場になるかもしれない。

■グループ03

- ・福岡市のなみきスクエア・なでしこルーム（市民が自由に使える会議室・自習室）がいい。
- ・駅には、迎えをまつ間に自習ができる場所が必要。羽鳥駅や土浦駅にはある。
- ・高校生が自由に来られる場所、イベントが自由に理由できる場所がいい。
- ・足立区のギャラクシティがよかった（雨の日に、子どもを連れていける）。
- ・石岡市は、おまつりの練習場はどこでやっているのかな？ニーズがあるのではないかな？
- ・予約不要で、簡単に使えるスペースがあったらいい（みの〜れには、そういうスペースがある）
- ・孫のピアノの発表会で小美玉市のコスモスに行った。習い事もできる、発表もできる場所があったら利用されるのではないかな？（八郷地区のピアノ教室の発表をみの〜れを使うと聞いたことがある。市内の施設が使いにくい？）

■グループ05

- ・久留米シティプラザのように、気軽に目的なく交流できる場所がよい。
- ・久留米シティプラザのように、カフェにしたかったらカフェにもできて、展示スペースにしたかったら展示もできるなど、変化できる施設がいい。目的によって異なる使い方ができるといい。
- ・藤沢市民会館の市民オペラの例がよかった。プロの技を住民が体験できるのがいい。ハード面ではなく、ひと・企画、ソフト面に投資するのがポイント。ひとに投資されている施設がいい。
- ・目的がなくても訪れられる場所は賛成。事例にはなかったが、茂木のふみの森がよかった。まちなかにあるこじんまりとした施設だが、図書館機能や展示機能があり、セミナーや会議室に来た人もふらりと図書館に入れるようになっていた。広場に屋根をつけてあるのも良かった。こどもの本から大人の本まであった。比較的まちなかであって、まちなか全体がミュージアムのように、魅力的だった。
- ・小中学校も、合唱コンクールの発表以外でも、使えるような企画があるといい。
- ・災害があったときには、避難できるようにも使えるといい。
- ・駅近にあれば、お土産を買って行ける機能があるといい。
- ・こんこんギャラリーの隣にある森で、筑波大学の院生が、間伐材を活用して、森をステージに見立て、森のラボラトリーという企画を行った。
- ・石岡市に関わっている学生（筑波大学・茨城大学・武蔵野美術大学など）たちのシンポジウムをやってほしい。
- ・石岡市には、文化活動のコーディネーターが必要

■グループ06

- ・気軽さ、若者が集まれる
- ・制限なく、いろんなひとが集まれる
- ・図書館は暗くて使いづらい雰囲気がある。明るくしてほしい。
- ・1フロアで広いとかコワーキングスペースがあるとか、図書館併設型がいい。

■グループ07

- ・未来会議をやって、石岡市に暮らしていても出会えなかった人と出会えた。だから、石岡市の情報をみんなで共有できるような場所が必要だと感じている。
- ・子どもと大人が同時に、時間の共有ができる場所。おまつりの山車やお囃子を取り込めるような場所。
- ・石岡のおまつりは江戸時代から。金毘羅さんのおまつりもある。石岡市には歴史がある。それを発信するスタジオを設けないといけない。
- ・青少年センターのような、若者が集まる場所は少ない。人のつながりが財産。地元から離れても、戻って来たいと思えるような、場所があるといい。杉田劇場の三世代ホールのリコーダーの事例は優しい心を育めると思う。
- ・石岡駅近くに新しい市民会館ができれば、高校生が使える自習室や、保護者が待つとき使えるカフェがあるといい。そこから発展して、まちかど情報センターにつなげるとか。駅のまわりを、すべて駐車場にしなくても、無料のバスを乗れるようにしたらいいんじゃないか
- ・富山県の路面電車（MRT）は、駅前に駐車場を使ってやっていた。参考になる。
- ・スタジオなどのYoutubeなどの撮影ができるところ
- ・石岡の歴史のことを学べるところ
- ・北海道のアイヌ劇団（かざぐるま）のことを学ぶなど
- ・学芸員などの雰囲気によっても、施設の様子は変わる。情熱ある人がいるといい。

■グループ08

- ・石岡市は、歴史のまちとはいえ、体系的に学べる施設がない。歴史館とセットになって、おまつりの体験もできるし、発掘されたものもみられるし。というのがあればいい（ふるさと歴史館はあるが小さい）
- ・子どもを連れて、ちょっと寄れる場所があるといい。事例としては、全天候型の久留米シティプラザがよかった。
- ・子どもたちの意見が尊重される施設
- ・久留米シティプラザは、もともとあった場所を、作り変えている。住んでいる人が変わっていくと、まちの機能も変わっていく。まちも一緒に育っていくというのがあるといい。
- ・前回、文化とは何かという話題になった。人間の活動は全部、文化だと思っているが。そのなかでも、あえて残そうと思わないとなくなってしまうものとして、歴史があると思う。きちんと残していかなければなくなってしまうからこそ、多賀城市のように博物館として残しているのはいいと思う。
- ・こども図書館のコンセプトはいいと思うが、しゃべってもいい場所と言われるが、実際のところは、おしゃべりをしていると注意される。こどもだけ隔離されているかんじ。そして、結局、保護者も本を借りたいというときは、本館に行かないといけない。本の予約はホームページでできるが、中央図書館の本を八郷地区の中央公民館の図書室で受け取ることはできない（笠間市はできるから、笠間市を使ってしまう）
- ・土浦市の図書館に、よく行く。行くと滞在時間が長いから、いろんな情報を得ようとする。
- ・図書館は、多世代が集まるし、地域のことを知れる場所。
- ・郷土史の本が充実していたら、読みに行きたい
- ・子ども達のための施設（子どもが自主的に学べる・歴史が学べて体験できる施設、既存の場所を利用できるといい）

■グループ09

- ・保健センターは未就学児までの利用が多いイメージ。しかし、小学生以上の子どもも含めて、親が集える場所はありません。不登校の悩みを、保護者も抱えているのではないかと考えている。
- ・書道が得意な子がいたら、書道を教えるなど、自分たちで考えて、企画して、実行できる場所があったらいい。
- ・中学生、高校生が交流できる場所
- ・自習スペースは2種類ほしい。
- ・静かにひとりで勉強できるスペース。飲み物だけOK。コンセントがある。
- ・みんなで談笑できるスペース。そこでは飲食もOK。
- ・使い勝手のいい会議室がある施設。使い勝手がいいというのは、空き状況がわかって、使いやすい。予約が取りやすい。
- ・見るだけじゃなくて、参加できる、ワークショップができる施設がいい。

■グループ10

- ・三世代ホールがおもしろかった。今後、高齢者も増える。高齢者も、子どもたちと楽しめる施設だったらいいな。作った結果、つくってよかったと思える施設だったらいいな。
- ・子どもが自由に過ごせる、足立区のギャラクシティがよかった。
- ・地域の情報を発信するスタジオがあるといい。牛久にあるFMラジオに出たことがあり、ああいうメディアが地域にあるといいと思った。
- ・土浦市の図書館がよかった。そこにライブキッチンやあり、いろんなイベントが開催されているといいと思った。
- ・内容によっては、既存施設や廃校を活用してできることもあるんじゃないかなと思った。ライブキッチンや直売所は、廃校になった場所を使えないかな？
- ・市民会館に持たせる機能、周辺の施設に持たせる機能について、整理して考えたほうがいい。
- ・石岡駅を利用する人たちを対象にするなら、自習室のような機能
- ・まちの中心に置けば、スタジオのような機能
- ・城南中には、ライブキッチンとか産直とかがあったらいいんじゃないかな
- ・空家を活用して、サロンをやっている。いまコロナで集められないが、4~5人で週2回、絵手紙や折り紙などをして集まっている。大きな施設をつくっても高齢者は歩いていけない。交通の問題はセット。身近なところでできる活動と、そこに行かないと出来ない活動がある。
- ・多世代が交流できるセンターは必要。
- ・意欲ある高齢者は多いと思う。自転車で頑張っている高齢者もいる。走りやすい道路を作ってもらいたい。施設の整備とセットで道路の整備も考えてもらいたい。

グループ対話②

「私、これだったらやってみたい！こんな関わりしてみたい！というのはあった？」

■グループ01

- ・プロと関われるのは魅力的。WEBデザインの勉強をしている。デザインのプロと関われるような企画があったら関わりたい。
- ・プロの制作分野を、市民が得意分野で支える。舞台ができるまでの過程を知れて、気付きが得られるような機会があったら関わってみたいと思う
- ・市外からプロを呼ぶというよりも、市民の中からプロを探せばいいんじゃないかな
- ・興味のある人は、ばんばん関わっていくと思うけど、ニーズをひろうのが難しい。
- ・ニーズが分からなければ、聞けばいいんじゃないか？市民にも近隣住民にも。
- ・音楽。バンド、コンサート系は興味がある。やるのも聞くのも好き。
- ・石岡のおまつりの、お神輿はどうやったら担げるのかと興味がある。いろんな人が参加できるようになっているのか気になる。
- ・石岡のおまつりをやっている人たちが、わいわいやっているのは、すごく楽しそう。大変だと思うけど。阿波踊り会館のような、外野杵みたいなのが1つあると参加しやすい
- ・おまつりも子どもを介して、関わる。大人になると、新たな文化に関わる意欲が下がってしまう。一方、里山文化などには、大人になるとすごく興味が出てくる。大人は文化活動として、里に行ったほうがいい。
- ・未来会議も文化活動の一つだと思う。

■グループ02

- ・今は、仕事と子ども以外に、時間をとって関わるのは難しい。子育てが終わったら、関わりたい。
- ・武蔵野プレイスのような場所があったら、小学生にお囃子を教えることもやってみたい。おまつりに参加している時点で、文化に触れているのかなと思う。それを教えたり、広めたりしたいなと思った。
- ・学生という限られた時間のなかで、自分のやりたいことを見つけるために、いろんなことを経験したいという思いもある。
- ・まちづくりを仕事にしたいと思っても、生活ができないと続かない。年間40公演を企画しホール運営を行うNPO法人たけとよは、まちから指定管理を受けた、8人のスタッフで運営しているとのことだったが、人件費で終わってしまうのでは。事業費はどうしているのかな？市で保証していけるのか？
- ・自分が参加することも大切な市民参加。
- ・無償と有償の責任や認識を持つことは大切。
- ・持続的に活動していくために経済的なことも必要
- ・親世代から教わるよりも、少し年上の子たちから教えてもらったほうが、子どもたちはいうことを聞く。若い子たちが活動することをサポートするような関わりをしていきたい。
- ・宣伝のお手伝いなど、関わり方はいろいろある。
- ・裁縫が好きだから、演劇をやるときに、衣装などを縫ってあげられる。料理は得意じゃないけど、6人分くらいのおにぎりくらいならつくってあげられるかな。

- ・行政の資金援助も必要だけど、もらうのをあてにしているばかりでは難しい。
- ・いろんなことを一緒にやってみて、そのなかで、今の石岡にヒットしたものを選んでいけたらいい。
- ・歴史も大切だけど、歴史ばかりだと、若い人が出てこない。新しいことも加えていかないと。
- ・若者たちの間では、スケボーが流行っているが、胸を張ってできる場所がない。思いっきりできるような場所がほしい。

■グループ03

- ・日常生活と文化の接点のような場所。無目的に集まれる場所。小さい子どもを連れて、ふらっと行けるような場所。
- ・八郷地区は芸術家が多い。公募してスタッフとして契約みたいなことはできないか。
- ・無目的という言葉が出たが、お茶でも飲むかと気楽に来られるような場所が大切なのではないか
- ・駅前には誰でも立ち寄れる場所があるといい。気楽に入っていける場。
- ・NPO法人が運営している施設。若手芸術家の運営スタッフとかもおもしろいと思う。八郷の芸術家たちのワークショップとかを体験できるようにして、石岡と八郷でつなげられるといいんじゃないかな
- ・こんこんギャラリーに、ふらりと行きたいが、行くと何も買わずに出ていくのが悪い感じがして、行くハードルが高い。
- ・技術をもって、ものづくりの人たちがいるのに、もったいない。
- ・石岡のいいもの、八郷のいいものが、お互いに分かっていない。石岡のおまつりもいいものだと思うが八郷のひとは参加できない。
- ・石岡市に住んで50年が経つが、石岡のおまつりも変わったと思う。
- ・八郷地区にはこんこんギャラリーがある。石岡にはおまつりがある。それを体験できる。関われるハードルを下げる。石岡市の文化のハードルは高い。
- ・人材がいるのだから、活躍できる場所があるといい。

■グループ05

- ・行政からNPO団体が運営を委託されるというのは大変だと思うけど、あったらいいなと思う。町全体で、必要な人材を必要なときに配置するというやり方ができたらいいなと思う。
- ・シルバー人材からプロ講師まで、石岡市の人材バンクができればいい。
- ・豊かな暮らし方を、おしゃれな感じで伝えられるような企画。教育の要素も入っているもの。
- ・プロが関わっている企画
- ・外からの誘客を目的とする、観光資源が多くある場所だと思う。しかし、文化活動は、市内の住民が対象。昨年、jazzの音楽イベントをやったが集客が大変だった。石岡市民は、文化に対してどれだけお金を払えるのか。
- ・青梅市は、市や商工会議所が、株式会社まちづくり青梅を立ち上げて、不動産業やマルシェ、駐車場経営を行っている。

■グループ06

- ・日舞の会の裏方スタッフをしている。演目のコーディネーターなどをやってみたい。

- ・茨城県食育協会に関わっていて、全世代の食を考えている。文化施設のなかに、カフェがあったら、そこで、地産地消でランチを提供できたらいいな
- ・心を育む花育を教える資格をもっている。ワークショップもできるが、公民館では営利活動はできない。資格をとるのに勉強して時間もかかっているから、参加費もとりたい。もっと市内で、教えたり、教わったりすることが気軽にできる場所がほしい。
- ・これできる、あれやってみたいな話を気軽に言い合える場があったらいい。ひとの話しを聞くのもすき。みんなの集まれる場があって、失敗OKでチャレンジしていけたら。じゃあ自分がどう関われるか…お金もらえないから、ボランティアでやらなくちゃ。営利って難しい。
- ・公民館は無償。利益のなかで循環できるような場が必要。
- ・石岡もやもや会議とかやりたい。月に1回とか話せる場をつくってもいいのかなと思う。
- ・市役所の人がおフィシャルに入ってくれているのもいい。
- ・市がどこまで考えているのか。運営は、市の職員が、どこまで本気になるかということだと思う。箱ものをつくっておしまいということだけでない。
- ・みの〜れは、市の職員が大変と聞く。町民がNPOをつくったっていうのを聞いてすごい。参加型の文化施設をつくりたいという以上は、ぼくらが、責任、有償関係なく関わること。今回参加してしまった責任ってありそう
- ・お金じゃなくても得るものがあれば、ボランティアもあり
- ・市内でやりたいひとを応援するNPO法人をつくれないうか。文化施設の運営を指定管理でとれないか

■グループ07

- ・自分たちの経験の中からはしかできない。せんべい焼きの体験講座・防災関係の講座などならできる。
- ・筑波山に来ている観光客を石岡市に呼べないか。トレイルランやハイキングをもっと活発にできたらいいんじゃないか。かすみがうら市側のハイキングコースは整備されている。朝日里山学校に戻ろうとしたら、地図がはっきりしなかった。整備して、地図をつくってみたらどうかなど考えている。
- ・52号線の花壇を整備し、里親になって、道路を整備したい。
- ・音楽会がなくなってしまって、残念。音楽の企画は大切にしてほしい。長久手市の「長久手文化の家」の近隣の作家7人を、創造スタッフで雇用という形が気になっている。石岡市にどういうひとがいるのかの調査が大切。
- ・自分で得意なもの、好きなもの、ぜひ参画したい。
- ・子どもたちの通学路の草刈りをしている。市民ができることは市民で大切にしていきたい。
- ・上の年代の皆さんは、支えたいという気持ちをもっている。応援してくださる方がいるのが力になる。

■グループ08

- ・石岡地区への移住者。昨年、県外の友人を石岡のおまつりに呼んだ。外のひとが、おまつりに関われる仕組みがあったらいいなと思った。石岡市への入口としてのおまつり。
- ・石岡市に関して知らないことが多い。知っている人と、知らない人。教えたい人と、教えてもらいたい人。そういうマッチングができればいい。

- ・学校は決められたことを勉強する。そうじゃなくて、地元のことを知る機会。多世代がディスカッションできる。受ける。発信する。
- ・石岡の情報を伝えたり、伝えられたり。例えば、高浜～霞ヶ浦の昔話。今の街並みのなかに、遊郭があったとか、カジュアルに聞ける場があったらいい。
- ・八郷地区への移住者。石岡のおまつりは外側から見る立場。コミュニティに入ることに大切だと思っている。トランペットやっていたから、篠笛をやってみたいという気持ちもある。
- ・おまつりは、地元の子どもじゃないと出るきっかけがない、ハードルが高い。地元の人と関わるのは敷居が高い。関わるきっかけがあったら…。
- ・上青柳地区でやっている「えんじゅトークサロン」というイベント。やさしさとアートサイトなどいろんなイベントをやっているが、情報が出づらい。知りづらい。
- ・以前、八豊祭（やっほうまつり）というイベントを企画したときに、地元のおじいちゃんから、藁人形を教わるコーナーがあった。都会から来たひとは、かなり興味をひかれていた。すたれていく文化を伝えて継承するのは、おもしろい。それを地域のおじいちゃんやおばあちゃんから教わるというのがいい。
- ・アートイベントに、神社境内を提供。氏子青年会を5年前に立ち上げ、神社を起点とした新たな事業を立ち上げている。神社を中心としたコミュニティを編集している感覚。石岡という地域に興味をもっているのに、入口がどこにあるのか見当たらない印象。入口にはなれそう。

■グループ09

- ・土木関係の資格をもっている。イベントの解体・ばらしなどできるかも。
- ・いわきのもやもや会議のような、ファシリテーターがいて、市民から引き出すような場に参加したい。
- ・逗子市のオーケストラの人が教えてくれるのは、すごくいいと思った。プロの方を招いて、子どもたちが指導を受けられるというプロジェクトがあったら、携わってみたい。
- ・札幌文化芸術交流センターでアーティストやプロと市民文化交流を支える仕組みがいいと思った。
- ・児童館との複合の武蔵野プレイス。小学校から高校生が参加できる、イベントやワークショップの開催があるといい。
- ・市民の声を拾って、情報を発信して、リアクションに答えて、集められるような。情報の発信だったり収集だったり。そういうことができないかなと思っている。
- ・ワークショップとかもやってみたい。
- ・施設情報の発信。市民レベルで、インターネットを介したラジオ発信ができないかな。みんなの手でできることがあったらいいな。ポッドキャストとか。
- ・与えられるだけでは出てこない。「こういうのをやりたい」を出す場。吸い上げみたいなのを増やしてもらいたい。
- ・「市役所が企画して、皆さん来てください」だけだと、「ああ、そうなんだ」と思って、それで終わってしまう。引き出すという狙いがあって、参加型になるようなもの。
- ・大人がいいと思っても、若者が嫌だなと思っていたら、参加しない。意見交流が気軽にできる場があれば、いいのかなと思った。

- ・インスタにあげたくなるような遊び、写真、動画。そこから話題が生まれる。楽しいこと。楽しくなくちゃ、参加してみようと思わない。
- ・昔の文化よりも、自分たちの思い出づくりになるような、楽しめることのほうが、高校生は集まる。

■グループ10

- ・仕事があってなかなかできないが、市民劇団に関心がある。裏方が好き。
- ・石岡は映画館がないから、映画の上映会みたいなことがあったらいいな。昔の映画でもいい。見るほうも運営するほうも、関わってみたいな。
- ・映画の上映だけじゃなくて、映像を通した文化紹介や、まちの紹介ができるんじゃないか。
- ・外国の方が多い。国際交流の場が運営できたら。
- ・石岡市でも、障がい者も楽しめるようなコンサートや演劇が開けたら。聴覚障害のひと向けに、ループ（補聴器に直接周波数をあわせるもの）で施設をつくっているところなどがある。
- ・小美玉市のコスモスには、古代からの展示コーナーがある。新しい施設のなかには、そういうコーナーを用意してほしい。石岡市には、国分尼寺があった。バーチャルで再現。独立して文化施設につくってほしいな。石岡市は歴史があるけど、見えないのが残念。
- ・市内でも、おまつりがない地域で育った。お囃子をやっている人たちが、うらやましかった。そういう体験ができると、少しは興味をもてるんじゃないか。
- ・小さいまちに閉じこもらずに、外とつながれる場。キャリア教育は必須。いろんな職業のひとを呼び、職場を見られる機会は大切。